



ぱんだぐみだより 12月

2019年12月2日

保土ヶ谷保育園

ぱんだ組



★最近の子どもたちの様子★

魔法のくじ引きで席替えをしました。ワクワクドキドキの表情で引いていましたが、誰と一緒になくても嬉しそうなお子様たちです。チーム名を決める話し合いも和気あいあいとした雰囲気です。互いの意見を聞いてから、満場一致のグループ名を発表していました。

カブトムシの幼虫も元気に育っており、さなぎになる前の土の交換をしました。幼虫は太さ直径2cm、長さ7cmくらいです。土から取り出したいと立候補した子は幼虫の数と一緒に8名でした。幼虫を取り出すのが怖い子はお皿に乗せて目の前に差し出すと「いいこ、いいこ」と親しみを込めて撫でていました。どうしても触れられない子は乾燥しないよう水を吹きかけるお世話をしました。「友だちと一緒に触りたい。」という子もいましたよ。年長になるころにはさなぎになり、初夏には何匹が成虫になることなのでしょうね。

寒くなる時期ではありますが戸外で思い切り体を動かして遊んでいきたいと思います。

★運動会裏話！？★

運動会にご協力ありがとうございました。かけっこやパラバルーンなど、最高にかわいい姿を見ていただくことができ、子どもたちの本番の強さに感心しました。かけっこは初めの頃はトラックの意味がわからずに、スタートするとトラック内に直角に突っ切っていったり、あさっての方向へ走り出したり。(笑)

パラバルーンは天候や場所など、本番のように練習できなかったのですが、バルーンは使わずに、曲に合わせて手や体の動きをしたり、活動の合間に声をかけて、最後の場面の並び方を素早く行ったりしました。バルーンの中で跳ね回るポップコーンやドーナツの部分では「友だちの手がぶつかった!」「自分だけ入れなかった!」と涙を流すことも。年長さんのソイヤは憧れでリハーサルで自発的に真似を始め、運動会后、屋上できりん組さんと一緒に楽しみました。なによりも運動会までの過程を十分に楽しみながら大きな目標にみんなに向かっていったことが、心と体の成長につながったと思います。



★今月の活動★

- ・初冬の自然に触れながら、戸外で体を動かして思い切り体を動かして遊びます。
- ・さまざまな素材や糊を使って、制作を楽しんでいきます。



★個人面談よろしくお願ひします★

12月10日よりぱんだ組の個人面談が始まります。短い時間ではありますが、園とご家庭の様子を伝え合い、有意義な時間になればと思います。よろしくお願ひします。



★おねがい★

- ・ジャンパーは子どもたちが掛けやすいように紐やゴムをつけて頂けるとよいかと思ひます。
- ・室内は暖房も入り子どもたちの熱気もありますので、あまり厚着にならないようにお願ひします。汗をかくと体がかえって冷えてしまひますので、戸外の寒さは上着で調節して頂くようお願ひします。

